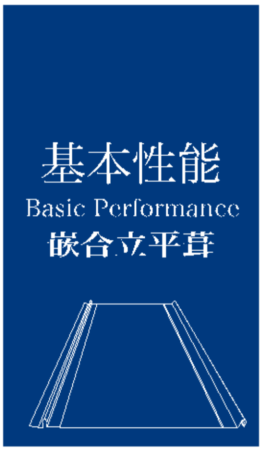
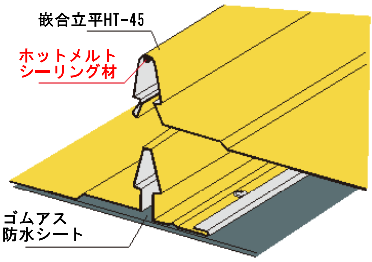


■製品仕様

板厚＼素材	鋼板系 カラー鋼板	カラーステンレス	アルミ
0.40mm	○	○	
0.50mm	○	○	
0.60mm	○		○



■適応範囲

勾配	5/100　以上
アーチ半径*1	アーチ製品につきましては、ご相談下さい。

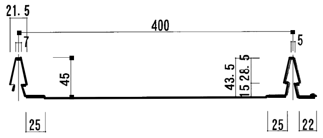
＊1.アーチ品はタテリブ仕上げになります

■ホットメルト仕様（別注）

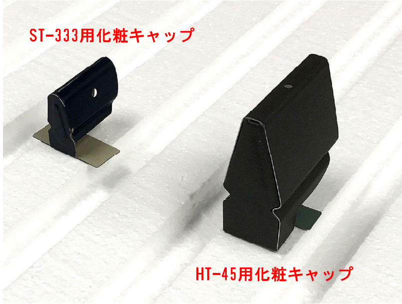
屋根材上ハゼ部分にホットメルトシーリング材を注入する事により、より高い防水性能を発揮する事が可能となります。
下地には、ゴムアスシート又はアスファルトルーフィング940以上の使用が必要です。（通常仕様でも高い防水性があります）

適応範囲	勾配　2/100　以上

※勾配が5/100未満の場合には、必ず軒先キャップを軒先より15mm程度前に出して下さい。
※ホットメルト仕様は最短長さ1,500mmからとなります。



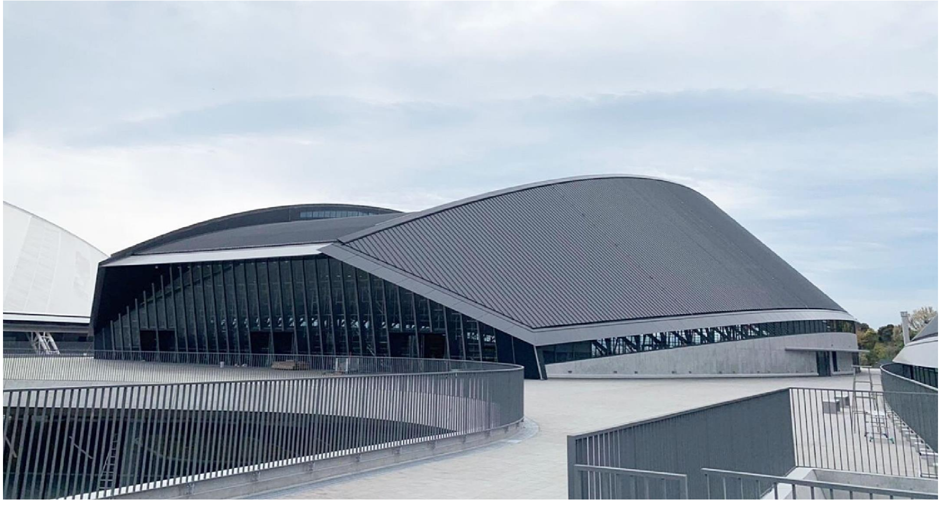
断面形状図



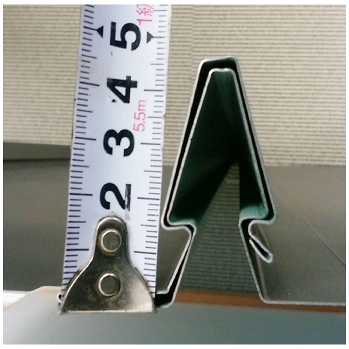
●ホットメルトシーリング材とは

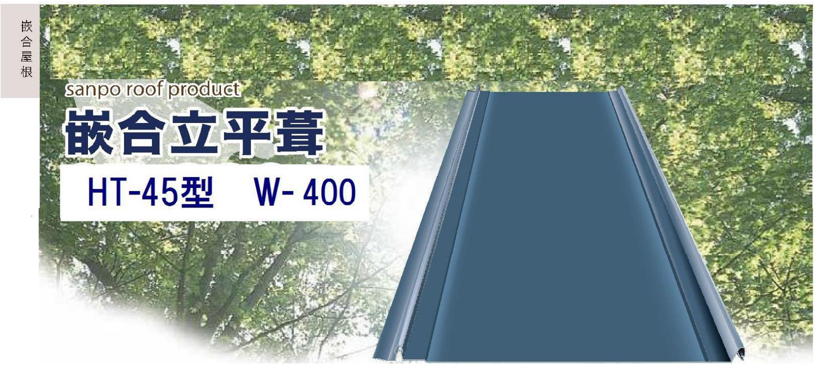
常温では固形のシーリング材。加熱溶融させて塗布することにより、応力に追従し高い防水効果を発揮します。

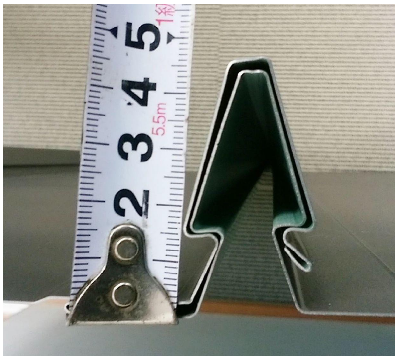
メーカー試験値	耐　熱　性：95℃　1,000時間放置　異常なし
	低温柔軟性：-20℃　良好



ハゼ山高さ45㎜で防水性及び風圧強度が非常に高い







1．試験目的
「嵌合立平葺　HT－４５(t=0.5mm)」の構造を再現した試験体において、耐風圧性能試験を実施し、屋根強度の確認を行なった。

2．試 験 日　　平成２９年　 ６月　 ３０日（金）

3．試験場所　　日鉄住金鋼板㈱内建材開発センター　　兵庫県尼崎市杭瀬南新町 3-2-1

4．試験体（別紙―１試験体図参照）
①試験体寸法　　長さ１９５０mm×幅１９５０mm

②屋根葺材　　嵌合立平葺　HT－４５（厚０．５mm）、働き幅４００mm

③緊結金具　　φ５ﾄﾞﾘﾙﾋﾞｽ（ﾉﾝﾍｯﾄﾞﾀｲﾌﾟ）にて鉄骨母屋に固定。（@６０６mm ）

④母　屋　　Ｃ型鋼(C-100×50×20×2.3)
設置間隔は@６０６mmとした。

試験体は、漏気により所定の圧力に達しない恐れがあるため、屋根葺材の屋内側から透明シートで覆い漏気を防いだ。

5．試験方法
試験は、図―１に示す装置に試験体を鉛直に固定し、図―２に示す静的負圧力を加え試験体各部の変形状況を観察した。
また、圧力段階毎の試験体各部の変位量を、図―３に示す位置に設置した変位計を用いて測定した。
なお、屋根葺材の残留変形を確認する為、－３５００ Pa にて一度除圧した。

6．結　果
１サイクル目では－３５００ Pa において一度除圧した。除圧後の残留変形は、最大でも３．６mmと微少なもので、屋根性能に何ら支障のないレベルまで復元することが確認できた。
２サイクル目では最終試験装置の最大加圧力－９８００ Pa まで屋根材の外れは無く試験を終了した。

以上の結果より、嵌合立平葺　HT－４５（４００幅，厚０．５mm）の耐風圧性能は

－９８００ Pa　とする。

パスカル パスカル (pascal, 記号: Pa) は、圧力･応力の単位で、国際単位系 (SI) における、固有の名称を持つSI組立単位である。1パスカルは、1平方メートル (m²) の面積につき1ニュートン (N) の力が作用する圧力または応力と定義されている。

パスカル - Wikipedia
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91...

株式会社　三邦
大分市大分流通業務団地二丁目７番地１
TEL097-593-3222　FAX097-593-3228
URL http://www.sanpou-roof.co.jp
E-mail　info@sanpou-roof.co.jp